

録音日：2024(R6)0326

会話場所：蘭越町役場総務課前

反訳者：野村一也（原告）

野村

あなた方のやっている町政懇談会は、他の都府県の…条例で定義付けられていないんですよ。町政懇談会が町民の意見を聞くために定められているのか、単に町民の要望で行われているのか、それとも町から意見を広く伝えるためのものなのか。きちんと定義している自治体と、していない自治体の2通りに分かれています。蘭越町は定義付けをしていない。先日聞いたところでは、あくまで各地域からの要望によって行われていると。もしそうであれば、あなたが「町政懇談会で意見が出なかったからチセヌプリ（スキー場）を廃止してよい」とするのはおかしい。これは前町長の話でもあります。町長も副町長も「町政懇談会で意見があったから」「出なかったから」、だから「町民の意見として受け止めた」と頻繁に使っていますが、根拠がありません。あくまで住民からの要望——「道路を作ってくれ」「水路を直してくれ」——に応じて行われているのなら、そこに行けなかった人の意見まで、「町政懇談会で意見があった／なかった」を根拠に扱うのはおかしい。今後、その使い方はやめてください。

町長

静かにしなさい。だから、それはあなたの言い分でしょう？ 少し静かに…。法律に基づいて言いましょよ。あなたが言うなら、法律でちゃんと…。それと、町民がいるのだから、もう少し静かに話してください。

野村

あなた方が紳士的に話をするなら、私のトーンは高くなりません。法律に基づいて、紳士的に話しましょ。あなたが理由もなく「思い込みだ」と言うから、私の…。「思い込みだ」と言ったでしょう。みんなの前で。「思

い込みだけ」だと。

町長

静かにしなさい。あまり迷惑をかけるなら、ここから出ていってもらいますよ。では警察に電話して…。みんなに迷惑をかけて…やってください、ということ…。

野村

正式に手配すればいい。私は理由のある話をしています。通常の実忍限度を超えるものとは思いません。逆に、あなたが…。

町長

みなさん…。

野村

いや、私は普通のトーンで話しているつもりです。努力して抑えています。では、一緒に話しましょうよ。個室に行きましょうよ。この件については。

町長

だから、もう少し静かに…。どうして行かなきゃだめなんですか。それより、あなたが何か月も前に頼んでいることを無視して、何も答えないというのは…。私は聞きましたよ？

小山内

私のほうから幾度となくご連絡させていただいて、野村さんのほうから…。

野村

「幾度となく連絡させていただいて」？

小山内

ご連絡は携帯に…。

野村

小山内さんから電話をもらったことはありません。ここ何か月間も。